

## ○ 決議第1483号23(b)の対象となる個人

### 1. サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティ

Saddam Hussein Al-Tikriti

(別名) アブ・アリ Abu Ali

(生年月日及び出生地) 1937年4月28日、ティクリート近郊アル・アウジャ

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) 決議1483に名前の記載あり。

### 2. クサイ・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティ

Qusay Saddam Hussein Al-Tikriti

(生年月日及び出生地) 1965年又は1966年、バグダッド

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) サッダーム・フセインの次男、特別共和国防衛隊総監、共和国防衛隊総監、特別治安機関長官

### 3. ウダイ・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティ

Uday Saddam Hussein Al-Tikriti

(生年月日及び出生地) 1964年又は1967年、バグダッド

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) サッダーム・フセインの長男、「フェダーイーン・サッダーム」部隊指揮官

### 4. アービド・ハーミド・マフムード・アル・ティクリーティ

Abid Hamid Mahmud Al-Tikriti

(別名)

アービド・ハーミド・ビド・ハーミド・マフムード Abid Hamid Bid Hamid Mahmud

アブデル・ハーミド・マフムード大佐 Col Abdel Hamid Mahmoud

アーベド・マフムード・ハンムード Abed Mahmoud Hammud

(生年月日及び出生地) 1957年頃、ティクリート近郊アル・アウジャ

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) サッダーム・フセインの大統領秘書、大統領顧問

### 5. アリ・ハサン・アル・マジード・アル・ティクリーティ

Ali Hassan Al-Majid Al-Tikriti

(別名) アル・キマーウィ Al-Kimawi

(生年月日及び出生地) 1943年、ティクリート近郊アル・アウジャ

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) 革命指導評議会評議員、大統領顧問

### 6. イッザト・イブラヒーム・アル・ドゥーリ

Izzat Ibrahim al-Duri

(別名)アブー・ブレイス Abu Brays

アブー・アフマド Abu Ahmad

(生年月日及び出生地)1942年、アル・ドゥール

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)イラク国軍副最高司令官、バアス党地域指導部副書記長、革命指導評議会副議長

7. ハーニー・アブド・アル・ラティーフ・ティルファーフ・アル・ティクリーティ

Hani Abd-Al-Latif Tilfah Al-Tikriti

(生年月日及び出生地)1962年頃、ティクリート近郊アル・アウジャ

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)特別治安機関ナンバー2

8. 削除

9. ムハンマド・ハムザ・ズベイディ

Muhammad Hamza Zubaidi

(生年月日及び出生地)1938年、バービル県バビロン

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)元首相

10. 削除

11. バルザーン・アブド・アル・ガフル・スレイマーン・マジード・アル・ティクリーティ

Barzan Abd al-Ghafur Sulaiman Majid Al-Tikriti

(別名)バルザーン・ラズキ・アブド・アル・ガフル Barzan Razuki Abd al-Ghafur

(生年月日及び出生地)1960年、サラハッディーン

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)特別共和国防衛隊司令官

12. ムザーヒム・サアブ・ハサン・アル・ティクリーティ

Muzahim Sa'b Hassan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地)1946年頃又は1949年又は1960年、サラハッディーン又はティクリート近郊アル・アウジャ

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)防空軍司令官、軍需産業庁次官

13. イブラヒーム・アフマド・アブド・アル・サッタール・ムハンマド・アル・ティクリーティ

Ibrahim Ahmad Abd al-Sattar Muhammed Al-Tikriti

(生年月日及び出生地)1950年、モスル

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)国軍の参謀総長

14. サイフ・アル・ディーン・フレイヒ・ハサン・ターハ・アル・ラーウイ  
Saif-al-Din Fulayyih Hassan Taha Al-Rawi  
(別名)イヤード・フタイエフ・アル・ラーウイ Ayad Futayyih Al-Rawi  
(生年月日及び出生地)1953年、ラマーディ  
(国籍)イラク  
(決議1483上の根拠)共和国防衛隊参謀総長
15. ラーフィ・アブド・アル・ラティーフ・ティルファーフ・アル・ティクリーティ  
Rafi Abd-al-Latif Tilfah Al-Tikriti  
(生年月日及び出生地)1954年頃、ティクリート  
(国籍)イラク  
(決議1483上の根拠)公安局長官
16. ターヘル・ジャリール・ハブブーシュ・アル・ティクリーティ  
Tahir Jalil Habbush Al-Tikriti  
(生年月日及び出生地)1950年、ティクリート  
(国籍)イラク  
(決議1483上の根拠)総合諜報局長官、公安局長官(1997年－1999年)
17. ハーミド・ラジャー・サラハ・アル・ティクリーティ  
Hamid Raja Shalah Al-Tikriti  
(別名)ハサン・アル・ティクリーティ Hassan Al-Tikriti  
ハーミド・ラジャー・サラハ・ハッサム・アル・ティクリーティ  
Hamid Raja-Shalah Hassum Al-Tikriti  
(生年月日及び出生地)1950年、サラハディーン県ベイジ  
(国籍)イラク  
(決議1483上の根拠)空軍司令官
18. 削除
19. アブド・アル・タウワーブ・ムラー・フワイシュ  
Abd-al-Tawwab Mullah Huwaysh  
(生年月日及び出生地)1957年頃又は1942年3月12日、モスル又はバグダッド  
(国籍)イラク  
(決議1483上の根拠)副首相、軍需産業庁長官
20. ターハ・ヤシン・ラマダーン・アル・ジズラーウイ  
Taha Yassin Ramadan Al-Jizrawi  
(生年月日及び出生地)1938年頃、モスル  
(国籍)イラク  
(決議1483上の根拠)1991年以来、副大統領
21. ルーカーン・ラズーキー・アブド・アル・ガフル・スレイマーン・アル・ティクリーティ

Rukan Razuki Abd-al-Ghafur Sulaiman Al-Tikriti

(別名)ルーカーン・アブダル・ガッフル・スレイマーン・アル・マージド

Rukan Abdal-Ghaffur Sulayman al-Majid

ルーカーン・ラズーキー・アブド・アル・ガッフル・アル・マージド

Rukan Razuqi Abd al-Ghafur Al-Majid

ルーカーン・アブド・アル・ガッフル・アル・マージド・アル・ティクリーティ・アブー・ワールド

Rukan Abd al-Ghaffur al-Majid Al-Tikriti Abu Walid

(生年月日及び出生地)1956年、ティクリート

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)大統領府部族問題事務所長

22. ジャマール・ムスタファ・アブダッラー・スルターン・アル・ティクリーティ

Jamal Mustafa Abdallah Sultan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地)1955年5月4日、ティクリート近郊アル・サムナ

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)大統領府部族問題事務所副所長

23. ミズバーン・ハドル・ハーディ

Mizban Khadr Hadi

(生年月日及び出生地)1938年、ディヤラ県マンダリ地区

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)1991年以来、バアス党地域指導部メンバー及び革命指導評議会評議員

24. ターハ・ムヒー・アル・ディーン・マアルーフ

Taha Muhyi-al-Din Ma'ruf

(生年月日及び出生地)1924年、スレイマーニーヤ

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)革命指導評議会副議長

25. ターリク・アジーズ

Tariq Aziz

(別名)ターリク・ミハイル・アジーズ Tariq Mikhail Aziz

(生年月日及び出生地)1936年7月1日、モスル又はバグダッド

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)副首相

(旅券)No34409/129(1997年7月)

26. ワリード・ハーミド・タウフィーク・アル・ティクリーティ

Walid Hamid Tawfiq Al-Tikriti

(別名)ワリード・ハーミド・タウフィーク・アル・ナーシリー

Walid Hamid Tawfiq al-Nasiri

(生年月日及び出生地)1954年、ティクリート

(国籍)イラク  
(決議1483上の根拠)バスラ県知事

27. スルターン・ハーシム・アフマド・アル・ターイ

Sultan Hashim Ahmad Al-Ta'i

(生年月日及び出生地)1944年、モスル

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)国防相

28. ヒクマト・ミズバーン・イブラヒーム・アル・アッザーウィ

Hikmat Mizban Ibrahim al-Azzawi

(生年月日及び出生地)1934年、ディヤラ

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)副首相兼財政相

29. 削除

30. イヤード・フタイフ・ハリファ・アル・ラーウィ

Ayad Futayyih Khalifa Al-Rawi

(生年月日及び出生地)1942年頃、ラワー

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)クッズ(Quds)軍参謀総長(2001年-2003年)、元バグダッド県及びタミーム県知事

31. 削除

32. アーミル・ハムディ・ハサン・アル・サアディ

Amir Hamudi Hassan Al-Sa'di

(生年月日及び出生地)1938年4月5日、バグダッド

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)科学担当大統領顧問、軍事産業庁上級次官(1988年-1991年)、特別プロジェクトのための技術関連公社の前総裁

(旅券)NO33301/862

発行年月日 1997年10月17日

有効期間満了日 2005年10月1日

M0003264580

発行年月日 不明

有効期間満了日 不明

H0100009

発行年月日 2001年5月

有効期間満了日 不明

33. 削除

34. 削除

35. 削除

36. サブアーウィ・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティ

Sab'awi Ibrahim Hassan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地) 1947年、ティクリート

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) 大統領顧問、1990年代初頭公安局長官、総合諜報機関長官(1990年－1991年)、サッダーム・フセインの異母兄弟

37. ワトバーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティ

Watban Ibrahim Hassan Al-Tikriti

(別名) ワタブ・イブラヒーム・アル・ハサン Watab Ibrahim al-Hassan

(生年月日及び出生地) 1952年、ティクリート

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) 大統領顧問、1990年代初頭内相、サッダーム・フセインの異母兄弟

38. バルザン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティ

Barzan Ibrahim Hassan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地) 1951年、ティクリート

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) 大統領顧問、ジュネーブ国連常駐代表(1989年－1998年)、1980年代初頭総合諜報機関長官、サッダーム・フセインの異母兄弟

39. フダー・サーリフ・マフディ・アンマーシュ

Huda Salih Mahdi Ammash

(生年月日及び出生地) 1953年、バグダッド

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) バアス党地域指導部メンバー、1990年代半ば軍需産業庁生物研究所長

40. 削除

41. 削除

42. 削除

43. フマーム・アブド・アル・ハーリク・アブド・アル・ガフル

Humam Abd-al-Khaliq Abd-al-Ghafur

(別名) フマーム・アブド・アル・ハーリク・アブド・アル・ラフマーン

Humam 'Abd al-Khaliq 'Abd al-Rahman

フマーム・アブド・アル・ハーリク・ラシード

Humam 'Abd-al-Khaliq Rashid

(生年月日及び出生地) 1945年、アル・ラマーディ

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) 高等教育・科学研究大臣(1992年－1997年、2001年－2003年)、  
情報文化相(1997年－2001年)、1980年代原子力庁長官及び次長

(旅券) 1993年9月12日発行 0018061/104

44. ヤヒヤ・アブダッラー・アル・ウベイディ

Yahia Abdallah Al-Ubaidi

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) バアス党バスラ県担当地域指導部議長

45. ナーイフ・シンダーフ・サーミル・ガーリブ

Nayif Shindakh Thamir Ghalib

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) バアス党ナジャフ県担当地域指導部議長、国会議員

(留意事項) 2003年死亡

46. サイフ・アル・ディーン・アル・マシュハダーニ

Saif-al-Din Al-Mashhadani

(生年月日及び出生地) 1956年、バグダッド

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) バアス党アル・ムサンナー県担当地域指導部議長

47. ファーディル・マフムード・ガリーブ

Fadil Mahmud Gharib

(別名) ガリーブ・ムハンマド・ファーゼル・アル・マシャイヒ

Gharib Muhammad Fazel al-Mashaikhi

(生年月日及び出生地) 1944年、ドウジェイル

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) バアス党バービル県担当地域指導部議長、イラク労働組合連盟議長

48. ムフシン・ハドル・アル・ハファージ

Muhsin Khadr Al-Khafaji

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) バアス党アル・カーディシーヤ県担当地域指導部議長

49. ラシード・タアーン・カージム

Rashid Taan Kathim

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) バアス党アル・アンバール県担当地域指導部議長

50. ウグラ・アビド・サクル・アル・ズベイシ

Ugla Abid Sakr Al-Zubaisi

(別名)サクル・アル・カビシ・アブド・アカラ

Saqr al-Kabisi Abd Aqala

(生年月日及び出生地)1944年、アル・アンバール県クベイシ

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)バアス党ミーサーン県担当地域指導部議長

51. ガージー・ハンムード・アル・ウベイディ

Ghazi Hammud Al-Ubaidi

(生年月日及び出生地)1944年、バグダッド

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)バアス党ワシート県担当地域指導部議長

52. アーディル・アブダッラー・マフディ

Adil Abdallah Mahdi

(生年月日及び出生地)1945年、アル・ドゥール

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)バアス党ジー・カール県担当地域指導部議長、バアス党前ディヤラ県及びアル・アンバール県担当地域指導部議長

53. 削除

54. ハミース・シルハーン・アル・ムハンマド

Khamis Sirhan Al-Muhammad

(別名)ドクター・フヌ・ムヌ・ハミース Dr. Fnu Mnu Khamis

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)バアス党カルバラ県担当地域指導部議長

55. サアド・アブド・アル・マジード・アル・ファイサル・アル・ティクリーティ

Sa'd Abd-al-Majid Al-Faisal Al-Tikriti

(生年月日及び出生地)1944年、ティクリート

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)バアス党サラハッディーン県担当地域指導部議長、前外務省安全保障担当次官

56. サージダ・ハイラッラー・ティルファーフ

Sajida Khayrallah Tilfah

(生年月日及び出生地)1937年、ティクリート近郊アル・アウジャ

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)サッダーム・フセインの第一夫人であり、いここである。イラク前政権での要職を占めていたクサイ・サッダーム・フセイン、ウダイ・サッダーム・フセインを含む五人の子を産んだ(現在、サッダーム・フセインには少なくとも6人の子供がいる)。同人はサッダーム・フセイ



ンの唯一の公式な妻として認められている(現在、サッダーム・フセインには少なくとも二人の妻がいる)。

57. ラガド・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティー

Raghad Saddam Hussein Al-Tikriti

(生年月日及び出生地) 1967年、イラク

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) サージダ・ハイラッラー・ティルファーフとサッダーム・フセインの娘

(住所) アンマン(ヨルダン)

58. ラナ・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティー

Rana Saddam Hussein Al-Tikriti

(生年月日及び出生地) 1969年、イラク

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) サージダ・ハイラッラー・ティルファーフとサッダーム・フセインの娘

(住所) アンマン(ヨルダン)

59. ハラー・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティー

Hala Saddam Hussein Al-Tikriti

(生年月日及び出生地) 1972年、イラク

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) サージダ・ハイラッラー・ティルファーフとサッダーム・フセインの娘

60. サミーラ・シャーフバンドル

Samira Shahbandar

(別名) チャディアン Chadian

(生年月日及び出生地) 1946年、バグダッド

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) サッダーム・フセインの第二夫人であり、サッダーム・フセインの三男の母親である。同人のサッダーム・フセインの妻としての地位は、ウダイ・サッダーム・フセインが、サミーラ・シャーフバンドルにサッダーム・フセインを紹介した男性を公共の場で殺害したあと広く知られるようになった。

61. アリー・サッダーム・フセイン・アル・ティクリーティー

Ali Saddam Hussein Al-Tikriti

(別名) ハッサン Hassan

(生年月日及び出生地) 1980年または1983年、イラク

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) サミーラ・シャーフバンドルとサッダーム・フセインの息子

62. ムハンマド・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Mohammad Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地) 1972年11月2日

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダー・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]

(住所)ジュネーブ(スイス)

63. サジャー・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Saja Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(出年月日及び出生地)1978年1月1日

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダー・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]

(住所)ジュネーブ(スイス)

64. アリー・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Ali Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地)1981年4月18日

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダー・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]

(住所)ジュネーブ(スイス)

65. ノール・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Noor Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地)1983年11月2日

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダー・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]

(住所)ジュネーブ(スイス)

66. ハウラ・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Khawla Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地)1986年12月3日

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダー・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]

(住所)ジュネーブ(スイス)

67. スラヤー・バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Thoraya Barzan Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地) 1980年12月19日または1980年1月19日

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) バルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーの子。[サッダーム・フセインの異母兄弟であるバルザーン・イブラヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前大統領顧問であり、イラクの国連大使であった。]

(住所) イラク

68. ジャウハル・マジード・アル・ドゥーリー

Jawhar Majid Al-Duri

(生年月日及び出生地) 1942年頃、アル・ドゥール

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) イッサト・イブラヒーム・アル・ドゥーリーの妻。[サッダーム・フセインの近親の家族の構成員であるイッサト・イブラヒーム・アル・ドゥーリは前政権イラク国軍の副最高司令官、バース党民族指導書記長兼地域指導部書記長、革命指導評議会副議長であった。]

69. サンドゥス・アブド・アル・ガフル

Sundus Abd Al-Ghafur

(生年月日及び出生地) 1967年頃、キルクーク

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) イッサト・イブラヒーム・アル・ドゥーリーの妻。[サッダーム・フセインの近親の家族の構成員であるイッサト・イブラヒーム・アル・ドゥーリは前政権イラク国軍の副最高司令官、バース党民族指導書記長兼地域指導部書記長、革命指導評議会副議長であった。]

(住所) イラク

70. ニザール・アル・ラビーイー

Nidal Al-Rabi'i

(生年月日及び出生地) 1965年頃、アル・ドゥール

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) イッサト・イブラヒーム・アル・ドゥーリーの妻。[サッダーム・フセインの近親の家族の構成員であるイッサト・イブラヒーム・アル・ドゥーリは前政権イラク国軍の副最高司令官、バース党民族指導書記長兼地域指導部書記長、革命指導評議会副議長であった。]

(住所) イラク

71. インティッサール・アル・ウバイディー

Intissar Al-Ubaydi

(生年月日及び出生地) 1974年頃

(国籍) イラク

(決議1483上の根拠) イッサト・イブラヒーム・アル・ドゥーリーの妻。[サッダーム・フセインの近親の家族の構成員であるイッサト・イブラヒーム・アル・ドゥーリは前政権イラク国軍の副最高司令官、バース党民族指導書記長兼地域指導部書記長、革命指導評議会副議長であった。]

(住所) イラク

72. 削除

73. 削除

74. 削除

75. アドナーン・S・ハサン・アフマド

Adnan S. Hasan Ahmed

(別名)ハサン・アフマド・S・アドナーン Hasan Ahmed S. Adnan

アフマド・スルタン Ahmed Sultan

(住所)アンマン(ヨルダン)

(決議1483上の根拠)団体リストの199番を参照

76. ムニール・アル・クバイシー

Munir Al Qubaysi

(別名)ムニール・アル・クバイシー Munir Al-Kubaysi

ムニール・アル・クバイシー Muneer Al-Kubaisi

ムニール・アワド Munir Awad

ムニール・A・マンドウフ・アワド Munir A. Mamduh. Awad

(生年月日及び出生地)1966年、ヒート、イラク

(住所)シリア

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)団体リストの204番を参照

77. 削除

78. アディーブ・シャーバーン・アル・アーニー

Adib Shaban Al-Ani

(別名)アディーブ・シャーバーン博士 Dr. Adib Sha'ban

アディーブ・シャーバーン Adib Shaban

(生年月日)1952年

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)イラクオリンピック委員会で働き、ウダイ・サッダーム・フセインの主席補佐官であった。

79. サーヒル・ベルハーン

Sahir Berhan

(別名)サーヒル・バルハーン博士 Dr. Sahir Barhan

サーヒル・ブルハーン・アル・ディーーン Saher Burhan Al-Deen

サーヒル・ブルハーン Sahir Burhan

(生年月日)1967年

(国籍)イラク

(住所)バグダッド、イラク

(おそらくは)アラブ首長国連邦  
(決議1483上の根拠)ウダイ・サッダーム・フセインにより支配されていた3つのイラクの会社の  
取締役員であり、イラク・オリンピック委員会役員会のメンバーであった。

#### 80. 削除

#### 81. ルーディ・スレワ

Roodi Slewa

(別名)ルーディ・スライワ Rudi Slaiwah

ルディ・ウンタイワン・スライワ Rudi Untaywan Slaywah

ルディ・サリワ Rudi Saliwa

(国籍)イラク

(決議1483上の根拠)イラク消費財会社におけるウダイ・サッダーム・フセインのパートナーとして仕えたことに加え、ルーディ・スレワはウダイ・サッダーム・フセインによる違法なアルコール及びタバコ配給の独占において主たる役割を果たした。前政権の下で、イラクのタバコとアルコール販売者は、仕事を行うために、スレワに対する不当な支払いの強要を受けた。スレワは、この不正な金儲けの計画による収益から毎月約1.5百万米ドルをウダイ・サッダーム・フセインに対して支払った。

#### 82. 削除

#### 83. ムハンマド・ユーニス・アフマド

Muhammad Yunis Ahmad

(別名)ムハンマド・ユーニス・アル・アフマド Muhammad Yunis Al-Ahmed

ムハンマド・ユーニス・アフメド Muhammad Yunis Ahmed

ムハンマド・ユーニス・アフマド・アル・バドラーニー Muhammad Yunis Ahmad Al-Badrani

ムハンマド・ユーニス・アフメド・アル・モアリー Muhammad Yunis Ahmed Al-Moali

(生年月日及び出生地)1949年／モースル、アル・モワール(イラク)

(国籍)イラク

(住所)ブルダーン、アル・ダワール・ストリート(シリア)

ダマスカス(シリア)

モースル(イラク)

ワーディー・アル・ハーウィー(イラク)

ドバイ(アラブ首長国連邦)

アル・ハッサケ(シリア)

(決議1483上の根拠)

イラク政府及び米国政府の入手可能な情報によれば、ムハンマド・ユーニス・アフマドは、1990年の湾岸戦争以前、アル・ムサンナー県知事であった。湾岸戦争後、イラク北部においてバアス党幹部に昇進した。同人は、バアス党の地方司令部の一員であり、また、サラハッ・ディーン県、タミーム県及びスライマー

ニーヤ県における同党活動に責任を負っていた。同人は、2003年のフセイン政権崩壊まで同地位にあった。

また、アフマド氏は、米国大統領令 (US Executive Order) 13315の附属書に掲載され本表の6番目に記されており、司令部で同人に次ぐ職を務めていたとされるイッサト・イブラーヒーム・アッ・ドゥーリーと近い職務上の関係にあると報告されている。イラクの自由作戦後、連合暫定施政当局によるバアス党の廃止の後に、同党は、新しい指導部の下で再編成を行った。イラク政府及び米国政府の入手可能な情報によれば、再編成されたイラク・バアス党は、アッ・ドゥーリー氏を党首とし、またアフマド氏を副党首として再編成されていると伝えられている。最近、同人は、バアス党の事務局長に選出された。イラク政府及び米国政府の情報によれば、アッ・ドゥーリー氏は、サッダーム政権崩壊後に形成された反連合軍グループの軍事部門を率い、アフマド氏が同グループの政治部門を率いている。

84. ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Yasir Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(別名1) ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Yassir Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Yasser Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Yasir Sab'awi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Yasir Sabawi Ibrahim Hassan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地) 1968年5月15日、アル・アウィージャ(イラク)

(国籍) イラク

(住所) モースル(イラク)

アッザバーダーニー(シリア)

(別名2) アリ・タフィール・アブドラ Ali Thafir Abdallah

(生年月日及び出生地) 1970年、イラク、バグダッド

(旅券) No.284158(イラク)、2005年8月21日まで有効

(決議1483上の根拠)

A: 前イラク政権幹部との関係

入手可能な情報によれば「『イラクの自由』作戦」以後、ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・アル・ティクリーティーは、前政権の諸部隊並びにイラク軍及び連合軍並びにイラク国民に対して攻撃を遂行しているグループを支援した。

B: 前イラク政権メンバーに対する支援

情報によれば、ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、米軍によるサッダーム・フセインの拘束以前、同人に資金を提供し、ボディガードも務めた。さらに、「『イラクの自由』作戦」以後、サッダーム・フセインのために政権党員に対し資金を移転するとともに、サッダーム・フセインの妻(サージダ・ハイラーラ・ティルファ

ーフ)に送金した旨申し立てられている。サージダ・ハイラーラ・ティルファーフは、国連安保理決議1518に基づき設立された委員会に指名され、また、米国政府による大統領令(US Executive Order)13315の附属書に掲載された。

C: 新イラク政府・連合軍・イラク国民に対する活動

入手可能な情報によれば、ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、イラクにおいて多くの反連合軍活動を指揮し、イラクの北部及び中部にかけて反対勢力と連絡を保っていた。また、ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、財政支援、武器及び爆薬を反連合軍部隊に対して提供した。

D: 前イラク政権幹部との近い親類関係

ヤーセル・サバーウィー・イブラーヒーム・アル・ティクリーティーは、前イラク政権幹部と近い親類関係にあることから安保理決議1483の条件に該当する。同人の父、サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、サッダーム・フセインの元大統領顧問であった。

#### 85. オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Omar Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(別名1)ウマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Umar Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Omar Sab'awi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Omar Sabawi Ibrahim Hassan Al-Tikriti

(生年月日)おおよそ1970年

(国籍)イラク

(住所)ダマスカス(シリア)

アッザバーダーニー、アルマハッタ近郊、アル・シャヒード・ストリート(シリア)

イエメン

(別名2)ウマル・アフマド・アリー・アル・アルーシー

Umar Ahmad Ali Al-Alusi

(生年月日及び出生地)1970年、バグダッド(イラク)

(旅券)No.2863795S、2005年8月23日まで有効(イラク)

A: 前イラク政権幹部との関係

入手可能な情報によれば、「『イラクの自由』作戦」以後、オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権の諸部隊並びにイラク軍及び連合軍並びにイラク国民に対して攻撃を遂行しているグループを支援した。

B: 前イラク政権メンバーに対する支援

入手可能な情報によれば、オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、「『イラクの自由』作戦」以後、前イラク・バース党員を支援していた。

C: 新イラク政府、連合軍及びイラク国民に対する活動

入手可能な情報によれば、オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、反連合軍活動を指揮し、イラクの北部及び中部にかけて反対勢力と連絡を保っていた。情報によれば、オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、イラクのモースルにおける攻撃を含む反イラク政府活動に対し財政支援及び作戦指示を与えていた。

D: 前イラク政権幹部との近い親類関係

オマル・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権幹部と近い親類関係にあることから安保理決議1483の条件に該当する。同人の父、サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、サッダーム・フセインの元大統領顧問であった。

86. アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Ayman Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(別名1) アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Aiman Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Ayman Sab'awi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Ayman Sabawi Ibrahim Hassan Al-Tikriti

カイス・ムハンマド・サルマン

Qais Muhammad Salman

(生年月日及び出生地) 1971年10月21日、バグダッド、アル・アウィージャ(イラク)

(国籍) イラク

(住所) ブルダーン(シリア)

バグダッド、アルマンスール、ムタナービー・エリア(イラク)

(決議1483上の根拠)

A: 前イラク政権幹部との関係

入手可能な情報によれば、「『イラクの自由』作戦」以後、アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは前政権の諸部隊並びにイラク軍及び連合軍並びにイラク国民に対して攻撃を遂行しているグループを支援した。

B: 新イラク政府、連合軍及びイラク国民に対する活動

アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、フェダイーン・サッダーム(サッダーム・フセインの息子ウダイが率いるイラクの準軍事組織)によるイラク中部で起きた連合軍に対する攻撃へ資金提供した疑いがあった。また、アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、イラクのインフラ、特に石油パイプライン及び給水・電力施設を攻撃するようバース党員に求めたと報告されている。

C: 前イラク政権幹部との近い親類関係

アイマン・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権幹部と近い親類関係にあることから、安保理決議1483の条



件に該当する。同人の父、サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、サッダーム・フセインの元大統領顧問であった。

87. イブラーヒーム・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Ibrahim Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(別名1) イブラーヒーム・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Ibrahim Sab' awi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

イブラーヒーム・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Ibrahim Sabawi Ibrahim Hassan Al-Tikriti

イブラーヒーム・サバーウィー・イブラーヒーム・アル・ハサン・アル・ティクリーティー

Ibrahim Sabawi Ibrahim Al-Hassan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地) 1983年10月25日、バグダッド(イラク)

(国籍) イラク

(住所) アッザバーダーニー、アルマハッタ近郊、アル・シャヒード・ストリート(シリア)

ダマスカス、アッザバーダーニー、フアード・ダウオッド(シリア)

イラク

(別名2) ムハンマド・ダーウード・サルマン

Muhammad Da' ud Salman

(生年月日及び出生地) 1977年、バグダッド(イラク)

(旅券) No.284173、2005年8月21日まで有効(イラク)

(決議1483上の根拠)

前イラク政権幹部との近い親類関係:

イブラーヒーム・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権幹部と近い親類関係にあることから安保理決議1483の条件に該当する。同人の父、サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、サッダーム・フセイン大統領の顧問であった。

88. バッシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Bashar Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(別名1) バッシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Bashar Sab' awi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

バッシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・アル・ハサン・アル・ティクリー  
ティー

Bashir Sab' awi Ibrahim Al-Hasan Al-Tikriti

バッシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・アル・ハサン・アル・ティクリー  
ティー

Bashir Sabawi Ibrahim Al-Hassan Al-Tikriti

バッシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・バイヤート

Bashar Sabawi Ibrahim Hasan Al-Bayjat

(生年月日及び出生地) 1970年7月17日

(国籍) イラク

(住所) ダマスカス、アッザバーダーニー、フアード・ダーウード農場(シリア)

ベイルート(レバノン)

(別名2)アリ・ザフィール・アブドゥラーAli Zafir ‘Abdullah’

(国籍)イラク

(出生地)バグダッド(イラク)

(決議1483上の根拠)

A: 前イラク政権幹部との関係

入手可能な情報によれば、「『イラクの自由』作戦」以後、バツシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権の諸部隊並びにイラク軍及び連合軍並びにイラク国民に対し攻撃を遂行しているグループを支援した。

B: 新イラク政府、連合軍及びイラク国民に対する活動

入手可能な情報によれば、バツシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、イラクにおける反連合軍活動を指揮し、イラクの北部及び中部にかけて反対勢力と連絡を保っていた。

C: 前イラク政権幹部との近い親類関係

バツシャール・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権幹部と近い親類関係にあることから安保理決議1483の条件に該当する。同人の父、サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、サッダーム・フセインの元大統領顧問であった。

89. サアド・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Sa’ d Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

(別名)サアド・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Sa’ ad Sabawi Ibrahim Hasan Al-Tikriti

サアド・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティー

Sa’ d Sab’ awi Hasan Al-Tikriti

(生年月日及び出生地)1988年9月19日

(国籍)イラク

(住所)アッザバダーニー、アル・マハッタ近郊、アル・シャヒード・ストリート(シリア)  
イエメン

(決議1483上の根拠)

前イラク政権幹部との近い親類関係

サアド・サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、前政権幹部と近い親類関係にあることから安保理決議1483の条件に該当する。同人の父、サバーウィー・イブラーヒーム・ハサン・アル・ティクリーティーは、サッダーム・フセインの元大統領顧問であった。

○ 決議第1483号23(a)の対象となる団体

1. 削除

2. 削除

3. 削除

4. 削除

5. 削除

6. 削除

7. 削除

8. 削除

9. 削除

10. 削除

11. 削除

12. 削除

13. 削除

14. 削除

15. 削除

16. 削除

17. 削除

18. 削除

19. 削除

20. 削除

21. 削除

22. 削除

23. 削除

24. 削除

25. 削除

26. 削除

27. 削除

28. 削除

29. 削除

30. 削除

31. 削除

32. 削除

33. 削除

34. 削除

35. 削除

36. 削除

37. 削除

38. 削除

39. 削除

40. 削除

41. 削除

42. 削除

43. 削除

44. 削除

45. 削除

46. 削除

47. 削除

48. 削除

49. イドリブ紡績会社

IDLEB COMPANY FOR SPINNING

(所在地)イラク、イドリブ、私書箱 9 号

50. 削除

51. 削除

52. 削除

53. 削除

54. 削除

55. 削除

56. 削除

57. 削除

58. 削除

59. 削除

60. 削除

61. 削除

62. 削除

63. 削除

64. 削除

65. 削除

66. 削除

67. 削除

68. 削除

69. 削除

70. 削除

71. 削除

72. 削除

73. 削除

74. 削除

75. 削除

76. 削除

77. 削除

78. 削除

79. 削除

80. 削除

81. 削除

82. 削除

83. 削除

84. 削除

85. 削除

86. 削除

87. 削除

88. 削除

89. 削除

90. 削除

91. 削除

92. 削除

93. 削除

94. 削除

95. 削除

96. 削除

97. 削除

98. 削除

99. 削除

100. 削除

101. 削除

102. 削除

103. 削除

104. 削除

105. 削除

106. 削除

107. 削除

108. 削除

109. 削除

110. 削除

111. 削除

112. 削除

113. 削除

114. 削除

115. 削除

116. 削除

117. 削除

118. 削除

119. 削除

120. 削除

121. 削除

122. 削除

123. 削除

124. 削除

125. 削除

126. 削除

127. 削除

128. 削除

129. 削除

130. 削除

131. 削除



132. 削除

133. 削除

134. 削除

135. 削除

136. 削除

137. 削除

138. 削除

139. 削除

140. 削除

141. 削除

142. 削除

143. 削除

144. 削除

145. 削除

146. 削除

147. 削除

148. 削除

149. 削除

150. 削除

151. 削除

152. 削除

153. 削除

154. 削除

155. 削除

156. 削除

157. 削除

158. 削除

159. 削除

160. 削除

161. 削除

162. 削除

163. 削除

164. 削除

165. 削除

166. 削除

167. 削除

168. 削除

169. 削除

170. 削除

171.削除

172. 削除

173. 削除

174. 削除

175. 削除

176. 削除

177. 削除

178. 削除

179. 削除

180. 削除

181. 削除

182. 削除

183. 削除

184. 削除

185. 削除

186. 削除

187. 削除

188. 削除

189. 削除

190. 削除

191. 削除

192. 削除

193. 削除

194. 削除

195. 削除

○ 決議第1483号23(b)の対象となる団体

197. アル・ワセル・バーベル総合貿易 LLC

AL WASEL AND BABEL GENERAL TRADING LLC

(所在地)－アラブ首長国連邦、ドバイ、ラシディーヤ、私書箱 10631 号及び 638 号、アル・ラムール通り、イブラーヒーム・サイド ルータ ビルディング

－アラブ首長国連邦、ドバイ、ラシディーヤ、航空クラブ近く、空港通り、ルータビルディング

－イラク、バグダッド、ハラシーヤ地区のヴィラ

(詳細) アル・ワセル・バーベル総合貿易 LLC(AWB)は前イラク政権が国連石油食糧交換(OFF)計画を通じて購入した物資の 10%のリベートを獲得し、国連により認可されていない物資を調達するために利用されていたアラブ首長国連邦にある会社である。

2001 年1月2日付の前政権イラク副首相兼財務相ヒクマト・ミズバン・イブラヒーム・アル・アッザウィが署名した書簡には、国連石油食糧交換計画の下で他国から購入したすべての物資に対してイラク政府が10%の手数料支払を得る旨の指示が記述されている。同書簡には、イラク政府職員に対する貿易会社を通じた物資購入の指示があるが、その貿易会社の一つがAWBである。

アル・アッザウィからの別の書類には、イラクとの貿易に従事している会社から 10%の手数料を

集

めるための手続きが示されている。同書類にはヨルダンにあるラーフィダイーン銀行がこうした取引における資金の受け皿として使うことができること、また、AWBが物資取引のために使われることとなる旨が明記されている。

米国が保有する情報によれば、AWBはイラクによる高性能地对空ミサイルシステム購入の試みに関わっていたとされる。約 43.5 百万米ドルが UAE 銀行に残されていたが、これは、当該ミサイル購入契約の条件の下で、このシステムの部分的な支払いとして使われるべきものであった。軍事用品を含むこの種の購入は、対イラク国連制裁下で禁止されていた。

フロリダ・タンパのアメリカ入国管理局(BICE)による、当該ミサイル取引に関する調査は、以下のことを明らかにした。

－AWBの商用口座は、UAE国籍の者1名と旅券からイラク政府職員であると判明したイラク人のヒクマト・ジョルジュース・バーナムによって、2000 年 12 月にアブダビ国立銀行(NBAD)に開設された。両名は、AWBへの取引が許可されたとして指名を受けている。イラク国籍保持者であるターリク・ナーセル・S・アル・オバイディーもこの口座の名義人であった。

－NBAD商用口座の初期取引の一つには、2000 年 12 月のヒクマト・マズバーン・イブラヒーム(おそらくはヒクマト・ミズバーン・イブラヒーム・アル・アッザウィである。)の指示による7百万

米ドルの入金があった。その直後、7百万米ドルのうち6.9百万米ドルが、アル・アッザーウィーの指示により、AWBの2番目の口座へ送金された。

—2001年初頭から2002年初頭にかけてAWBの二つの口座間で多数の追加送金があり、その結果、一方の口座の残高は43.5百万米ドルとなった。

—調査中に得られた文書によると、その43.5百万米ドルの残高は、レーダーコントロールによる地对空ミサイルシステムをイラクに売却することを目的とする「契約N24398」に直接関連していた。

アブダビ国立銀行のある職員はアメリカ合衆国BICE調査員に対して、43.5百万米ドルの残高を有するAWBの口座が、イラク人のみを預金にアクセスできる署名者としていたことは異常である旨述べた。その銀行職員は調査員に対し、UAE市民である同社の社長は当該預金を管理することができず、イラク政府及びその代理人がAWBの実質的な所有者であったと述べた。

以前にイラク中央銀行の総裁を務め、2001年時点で、AWB事務所職員の一人であったイラク人、ターリク・アル・ウバイディーと、以前イラク中央銀行に雇用されていたイラク人のジョセフ・ギルギースはドバイにおけるウダイ・サッターム・フセインの代理人として活動していた。

#### 198. 削除

#### 199. アビアトランス・アンスタルト

AVIATRANS ANSTALT

(別名)アビアトランス機構 AVIATRANS ESTABLISHMENT

(所在地)リヒテンシュタイン、ルツゲル

(詳細)ロガルチェオS. Aとアビアトランス・アンスタルトは前イラク政権と前政権高官の財産を管理するために設立された2つの関連会社である。スイスの会社であるロガルチェオは、最終的にはサッターム・フセインによって所有されるフランスの不動産管理会社の所有者であり管理者であると伝えられている。リヒテンシュタインの会社であるアビアトランスは、イラク通信省がイラク空軍の財源で購入し、イラク政府高官の移動に用いられるジェット機ファルコン 50 の登録された所有者、管理者であったと報じられている。

イラク諜報機関の投資責任者であるハラフ・アル・ドゥレイミーはロガルチェオとアビアトランスを管理していた。ジェット機ファルコン 50 の真正な所有権を更に隠蔽するため、イラクの航空整備士のハサン・アフマド・S・アドナーンがその所有者としてリストに掲載されていた。当該航空機に対するイラク前政権の権益を認識したことから、リヒテンシュタイン当局は最近になって当該ジェット機の登録を抹消し、法定所有者であるアビアトランスに対する精算手続きを開始した。リヒテンシュタイン当局は、「この航空機をイラク再建のために利用できるように」したい旨の意図を表明した。

通商報告とジュネーブ商業登記所によれば、アル・ドゥレイミーはスイスの会社であるミドコ・ファイナンスS.A.の社長、管理者であり、権限ある署名者であったことが示されている。同報告によ

れば、同人は、モンタネ・マネージメントINCの代表でもある。報道によれば、モンタネはフランスの出版社のハチエットの 8.4%、フランスのミサイル防衛電子機器製造業者マトラの 2.5%を所有している。(ハチエットとマトラは後にフランスの会社ラガルデレSCAに統合された。)

200. ロガチエオ S.A.

LOGARCHEO S.A.

(別名)ロガチエオ AGLOGARCHEO AG

(所在地)スイス・レ・パンクイアーモントバリ―1661・チェミニ ドウ カーメル

(連盟番号)CH-2 17-0-431-423-3(スイス)

[概要の説明は本リストの 199 番を参照]

201. 削除

202. 削除

203. アル・アラビー貿易会社

AL-ARABI TRADING COMPANY

(所在地)バグダッド、929 地区、通路 11、ハーイ、バビル

バグダッド、オフィス 10、エリア 902、通路 15、ハーイ・アル・ワフダ

バグダッド、アルウィーヤ、私書箱 2337 号

(詳細)アル・アラビー社は前イラク政権の軍事調達に従事していた多数の会社の最終的な親会社である。1991 年には、新聞記事の中で、アル・アラビー社はイラクの核・生物兵器やミサイル計画のための部品と機材調達に従事していたイラク政府の団体であるとされた。

アル・アラビー社は以前、軍事産業委員会の下にあり、1993 年 11 月に清算されたとしてイラク側から主張されていた。当時、アル・アラビー社は産業省や特別プロジェクト技術協力(TECO または Techcorp)と呼ばれる軍事産業傘下により管理されていた。

アル・アラビー社は 12 もの偽装会社の最終的な親会社である。アル・アラビー社は TMG Enginerring Limited を所有する英国の株式会社 Technology and Development Group Limited の 99%を所有している。TDG/TMG は 1980 年代後半にイラクの武器調達ネットワークに関与していた。

204. アル・バシャーイル貿易有限会社

AL-BASHAIR TRADING COMPANY LTD

(別名)アル・バシャーエル貿易有限会社 AL-BASHAER TRADING COMPANY, LTD

アル・バシール貿易有限会社 AL-BASHIR TRADING COMPANY, LTD

アル・バシャー・イル貿易有限会社 AL-BASHA' IR TRADING COMPANY, LTD

アル・バシャーイル貿易有限会社 AL-BASHAAIR TRADING COMPANY, LTD

アル・ブシャーイル貿易有限会社 AL-BUSHAIR TRADING COMPANY, LTD

(所在地)バグダッド・サアドゥーン通り、アル・アニービルディング1階

(詳細)報道及び米国政府が入手した情報によれば、アル・バシャーイル貿易有限会社はイラクの自由作戦の開始までイラク最大の軍事調達の偽装会社として活動し、前政権にかわって一連

の制裁破りや腐敗の枠組みに関与していた。アル・バシャーイル社は、前副首相アブドル・タワブ・ムッラー・フワイシャが率いるイラクの軍事調達計画に責任を持つイラク国営企業である軍事産業機構に直接報告していた。フワイシャは安全保障理事会決議 1483 に基づき作成されたリスト上で前イラク政権の高官として国連により名指しされている。アル・バシャーイル社のバグダッド本部から持ち出された文書に基づく 2003 年 12 月 30 日付ロサンゼルスタイムスの調査報告は、国連査察官を欺き、ミサイル部品、監視装置、戦車の砲身等を前イラク政権に届けるべく計画された虚偽契約、賄賂、虚偽の輸出書類及び資金洗浄を含む数多くの取引について記述している。

この会社は、前政権高官による資金洗浄及びイラク政府資金の隠匿を助けたとされている。アル・バシャーイル社の重役であるムニール・アル・クバイシーはイラクの自由作戦以前にイラクを去り、現在シリアに居住している。

#### 205. 貿易運輸サービス有限会社

TRADING AND TRANSPORT SERVICES COMPANY, LTD.

(住所)ーヨルダン、アンマン、ジャバル・アル・フセイン、アル・ラジ・メディカル・コンプレックス  
ーヨルダン、アンマン 11121、私書箱 212953 号;  
ーヨルダン、アンマン 11191、私書箱 910606 号

貿易運輸サービス有限会社は、ウダイ・サッダーム・フセインの複数の偽装会社と結びついていた。[事案の更なる詳細については、個人リストの 82 番を参照]

#### 206. アルファ国際貿易マーケティング会社

ALFA COMPANY LIMITED FOR INTERNATIONAL TRADING AND MARKETING

(別名)アルファ貿易会社 ALFA TRADING COMPANY

アルファ投資・国際貿易 ALFA INVESTMENT AND INTERNATIONAL TRADING

(住所)ヨルダン、アンマン 11191、私書箱 910606 号

アルファ国際貿易マーケティング会社は、ナビール・ビクトール・カラムによって運営されていた。  
[個人リストの 82 番を参照]

#### 207. 技術開発グループ有限会社

TECHNOLOGY AND DEVELOPMENT GROUP LIMITED

(別名)TDG 有限会社 TDG Ltd.

登録された会社番号 02150590

登録された事務所の住所 53/64 Chancery Lane  
ロンドン WC2A 1QU 英国

最新の既知の管理者 ハナ・ポール・ジョン Hana Paul JON  
アドナン・タリブ・ハーシム・アル・アミーリー  
Adnan Talib Hashim AL-AMIRI  
サファ・ハディ・ジャワード・アル・ハボビ博士  
Dr. Safa Hadi Jawad AL-HABOBI

最新の既知の株主 99 通常債権:アル・アラビー貿易有限会社  
Al-Arabi Trading Co. Ltd.

## 1 通常債権:アル・ハボビ博士

Dr. Al-Habobi

(詳細)TDG Ltd.は、1987年に英国で設立、登録され、イラクで設立されたアル・アラビー貿易会社が所有している。英国の会社登記所(Companies House)の最新のTDG Ltd.に関するAnnual Returnはアル・アラビー貿易会社が2002年4月にTDGの99パーセントの株式を保有していたことを示している。アル・アラビー貿易会社は、2004年4月26日に、国連安保理決議1518に基づき設立された委員会により、決議1483主文23(b)に基づく団体に指定された[上記リスト203番を参照]。

T.M.G.エンジニアリング有限会社[下記リスト208番参照]は、TDG Ltd.がほぼ全てを所有する英国で登録された会社である。したがって、T.M.G.エンジニアリング有限会社はアル・アラビー貿易会社の事実上の子会社と見られる。TDG Ltd.は、子会社であるT.M.G.エンジニアリング有限会社を通じて、1980年代にイラクの軍工業化の調達努力において鍵となる役割を果たしていたことで知られるMatrix Churchill企業グループのかなりの株式を所有していた。T.M.G. Shareholders Echosabre Ltd.とAdminchck Ltd.はMatrix Churchillグループの一部であった。

### 208. T.M.G.エンジニアリング有限会社

T.M.G. ENGINEERING LIMITED

(別名)TMG 有限会社 TMG Ltd.

登録された会社番号 02142819

登録された事務所の住所 53/64 Chancery Lane

ロンドン WC2A 1QU 英国

最新の既知の管理者 ハナ・ポール・ジョン Hana Paul JON

アドナン・ターリブ・ハーシム・アル・アミーリー

Adnan Talib Hashim AL-AMIRI

サファ・ハディ・ジャワード・アル・ハボビ博士

Dr. Safa Hadi Jawad AL-HABOBI

株主 3,700,000 通常債権:TDG Ltd.

100,000 通常債権:Admincheck Ltd.

200,000 通常債権:Echosabre Ltd.

(詳細)T.M.G.エンジニアリング有限会社は、TDG Ltd.がほぼ全てを所有する英国で登録された会社である[上記リスト207番参照]。したがって、T.M.G.エンジニアリング有限会社はアル・アラビー貿易会社の事実上の子会社と見られる[上記リスト203番参照]。TDG Ltd.は、子会社であるT.M.G.エンジニアリング有限会社を通じて、1980年代にイラクの軍工業化の調達努力において鍵となる役割を果たしていたことで知られるMatrix Churchill企業グループのかなりの株式を所有していた。T.M.G. Shareholders Echosabre Ltd.とAdminchck Ltd.はMatrix Churchillグループの一部であった。